



「改革」を
進める政治家が
出来るまで

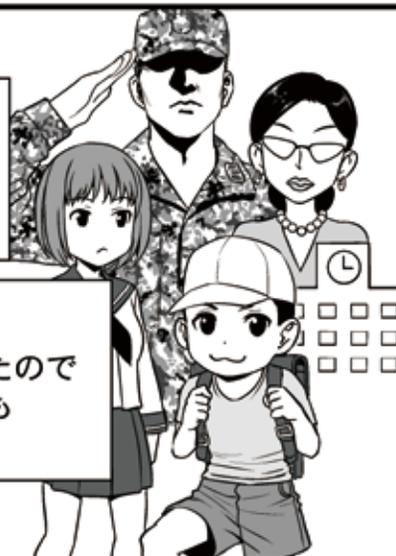
衆議院議員
みたに英弘

こんにちは！
衆議院議員の
みに英弘です！

1章 学生編

藤沢市の出身で
両親と姉一人の
4人家族

父親が
海上自衛官だったので
転勤族で小学校も
3つ通いました



小学校の頃はドッジボールで
人にボールをぶつけられないほど
内気でしたし

人の話をしっかり聞くことも
苦手なもので忘れものばかりでした

そのせいで
よく居残り
学習を
させられて
ましたね



でも当時の
担任の先生がいつも
あなたは将来きっと
「大物になるから頑張って」
と言って励ましてくれた
おかげで勉強を頑張る
ことができました



そして
努力の甲斐あって
栄光学園中学校に
合格できました



中学に入ってからは——

という学校の先生の言葉を鵜呑みにした両親の指導でひたすら勉強の日々

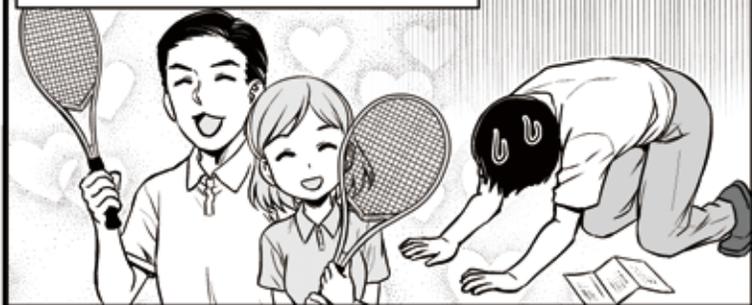


そのおかげで英語のスピーチコンテストや数学オリンピックに参加するほど成績が伸びて東大法学部に進学



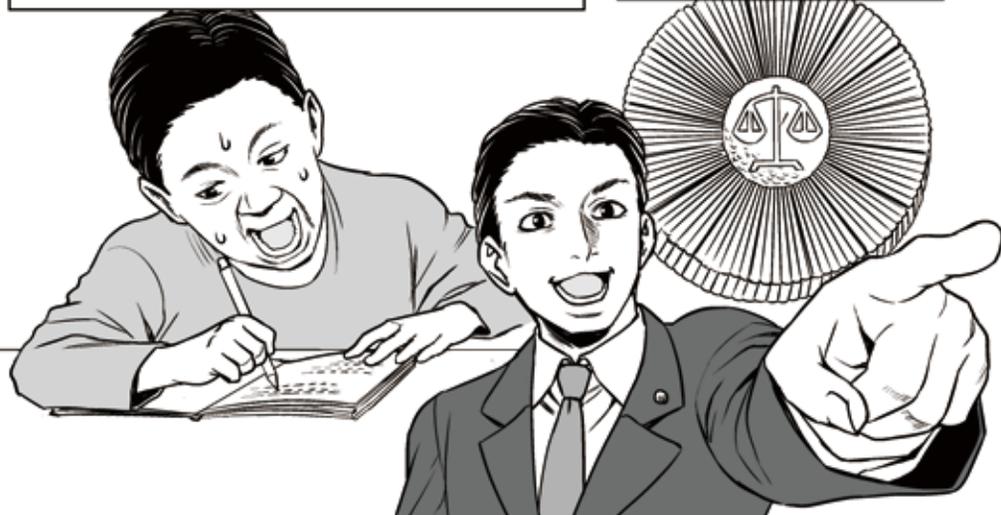
大学ではテニスサークルに入ったり恋愛にはまったり人生初めてリアルが充実した結果勉強をしなくなったため当然ながら成績が急降下

司法試験に2度連続で不合格になりました



勉強の大切さを思い知りその後は死ぬ気で努力したおかげで3度目の司法試験で遂に合格

弁護士のキャリアをスタートしました



2章 弁護士時代

私はこれで弁護士になりました

学生時代から
アニメオタクだった
経験を生かして
エンターテインメントの
支援を行いました



国内では
メジャーリーグの
放映権に関する
マスターライセンス
契約や有名作品の
ライセンス契約の
策定に従事

またシャネルや
エルメス
ロレックス
など高級
ブランドや

マイクロソフトや
Adobe などの
ソフトウェアなどの
知的財産権を守る
仕事をしていました

アメリカでは
日本のアニメを
世界に届ける
仕事に従事したり

仕事の幅を
広げるため
海外に留学
しました

ところが海外から
見ると日本は
世界の潮流に
取り残されていると
感じたのです

私は現在の
変化の遅い法律を
時代にあわせて
変えていく必要が
あると思いました

そして将来の日本が貧しく
なっていくのを防ぐために
弁護士としての安定した
生活を捨て私は政治家に
なろうと決意したのです



3章 政治家編

2012年
晴れて
国会議員に!

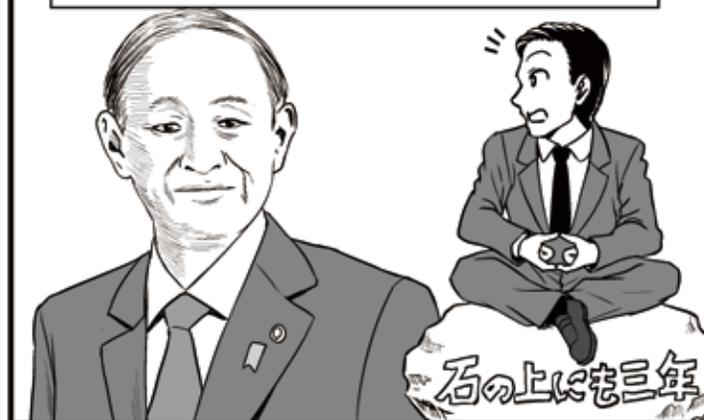
しかし野党議員の
立場ではなかなか
政策は形に
なりませんでした



そこで新たに
無所属で立候補
したものの落選



選挙の直前のある時
以前から活動の評価してくれていた
当時の菅義偉官房長官より自民党への
入党のお誘いを頂きました



耳障りの
良いことを
言うだけでは
有権者の期待を
裏切ることにな
ってしまう

そのうえ
政権を担うと
期待されていた
当時の所属政党
自体が消滅して
しまいました



その後3年間浪人
することになるも
弁護士には戻らず
貧困の中でも
政治活動を継続

自民党には
問題のある部分も
存在すると理解
しつつ

自らの政策を
実現するために
入党を決断
しました



自民党の議員になったおかげで以前から実現しなかった様々な政策が実現できました

・犯罪被害者の
経済的支援の拡充

・誹謗中傷対策

・男性育休取得の
推進

・共同親権など

また政務官としても多くの官僚と共同作業で様々な政策を実現してきました

・GIGAスクール構想の実現
(コロナ禍で一年で
タブレットを普及)

・小学校の少人数学級

・東京オリンピックの開催
(クラスターを起こさず
安全に運営)

・科学技術予算確保の
ための10兆円ファンドの
創設など

政策というものは自分が一人がいくら熱く思っているだけでは形になりません

他の議員や官僚と連携して共同作業することで物事を進めていくことが大切なのです

議員として政策を追求していくことの責任は重大ですがやればやるほど形になるので非常に充実した日々を過ごしています



私がこれまで
議員として活動し
実現した成果は
様々な分野に
わたりますが

現在の課題は
次の世代に
持ち越さず
今の世代で
解決することを
目指しています



今の私の立場でも
これまで多数の課題を
解決してきましたが
やはり立場によって
できる仕事の大きさ
には限界があります

だからこそ
将来的にはこの国の
総理大臣として
もっと大きな
課題の解決に
取り組んでいきたいと
考えています

すべては
次の世代の
ために全力で
頑張ります!



この国の
最大の資産は
「人」なのです

だからこそ私が
取り組んでいる
政策の原点は
人への投資がすべて

次の世代を担う
若い人たちが
本当に豊かで
住みやすい日本で
のびのびと
活躍できる社会を
作っていきたい